

札幌学院大学バリアフリー委員会 バリアフリー通信

第3号☆



☆Web講習会開始☆

5月27日(水)午後6時半より、D201教室にて今年度のWeb講習会が始まりました。Web講習会では、Webページの作成方法やパソコンの使い方の指導などを行っています。第1回から第3回までは、Webページでの文字の書き方、画像・リンクの取り扱いなど、基礎的な部分を中心に扱っています。

(文責 渋谷大介)



Webに興味がある方は顔を覗かせてみてください。

日時：毎週水曜日 18:30~

場所：D201

(変更あり)

☆みんなでしゃべり場☆

6月15日(月)午後6時半よりA302教室にて第1回「みんなでしゃべり場」が行われました。今回は学生が29名、教職員が3名参加しました。まず、人文学部の学生が講師となり、今回のテーマである「精神障害」について自分の経験を通し講演しました。その後、5つのグループに分かれ、「あなたにとって生きる意味とは」と「あなたが精神障害者を理解するのに必要だと思うこと」の2つのテーマに沿って話し合いを始めました。最後には、各グループでどんな事を話したかの報告があり、みんな真剣に聞き入っていました。「今まで生きる意味を考えたことなかった」などの声があり、貴重な機会になったのではないのでしょうか。

(文責 澤田晴恵)



♡ | Love BF ♡



今回の「I love BF」は、新規テイカーを代表して人間科学科1年 小松祐佳さん、英語英米文学科1年 西田祐美子さん、経済学科2年 山口道弘さん、人間科学科2年 太田康文さん、先輩テイカーを代表してこども発達学科4年 伊藤康宏さんの5名に集まっていたいただき、お話を伺いました。



Q：テイクに入ったきっかけは？

小松：高校でやったパソコンを何かに役に立てたかったから。

西田：説明会の時にテイクの体験をして役に立ちたいなあと思ったから。

山口：テイク講習会の時にやっていたら、テイク統括部の部長に「入って！」って言われたので。

太田：説明会の時に「やってみなよ！」って言われてやったら、先輩に「出来るじゃん！入んなよ」って言われたから(笑)

Q：実際にテイクに入ってみて——大変だったこと

小松：テイク講習会と実際の講義のテイクとでは速さが違って、もっと練習しようと思いました。

西田：実際の講義は専門用語とか難しい単語があつて大変でした。

山口：先生の話すスピードが速くて大変でした。

太田：やっぱゼミとかのテイクは学生の会話とかもあるから大変だね。

Q：実際にテイクに入ってみて——良かったこと

小松：集中力が増して授業であんまり眠らなくなりました(笑)

西田：ノートを取るのが速くなったことです。あと被テイカーの方がちゃんと講義を受けれているのを見ると嬉しくなります。

山口：習ったことがない講義を受けたりできることです。

太田：先輩の講義とか、あっこういう授業やるんだって思ったり、被テイカーと話す機会が増えたことです。

Q：先輩テイカーからアドバイスなどあれば

伊藤：時間を守ること。メールであつたり、教室に入る時間だったり。あと、被テイカーがどんな形でテイクを受けたいかを理解することとかかな。

齋藤：パソコンテイクは速さが求められるものと思われるけど、それ以外にも内容を分かりやすく伝えることも必要。量より質。

渋谷：あと、周りの受講者のことも考えて、あんまりタイピングの時の音が出ないようにしたり。

ありがとうございました。これからもテイクを含め、バリアフリー委員会の活動に協力お願いします。(取材：渋谷大介 記録：山田洸平 撮影：齋藤友通)

♪ 編集後記 ♪

酒井紫織：初めて編集をさせていただきました。無事に完成して安心しました…(^o^;))

福井浩晃：最初は出来るか不安でしたが、先輩達がわかりやすく教えてくれたので、自分にも出来てよかったです。

澤田晴恵：今回は推敲も編集も早く終わってよかったです☆1年生が頑張りました。

長尾晟和：あまり参加できませんでしたが次回は頑張ります(*^^*)

兜いずみ：1年生の頑張りでほとんど見守るだけでした(´ω`) 世代交代ですね(笑)

小林舞子：飛び入りゲストも加わりつつ(笑)、楽しく推敲しました!(・v・)ノ

渋谷大介：終始なごやかな雰囲気です！love BFの取材ができました。